

平成22年3月9日付 日刊工業新聞

— 橘 三郎 — 「企業の士魂」

2010年
龍馬と“志士の時代”の
俊英列伝



(株)日本システム研究所

代表取締役 松下 幸夫氏

神奈川県川崎市中原区新丸子東2・902・1

後藤象二郎^{ごとう しょうじろう}は龍馬の代わりに「大政奉還」を山内容堂に上申し、実現への道筋をつけた土佐藩参政。亀山社中の経営が危機的状況に陥ったとき、全面的にバックアップした土佐藩の中心人物である。亀山社中から海援隊へと生まれ変わって躍動したのも、後藤の尽力あってこそその結果だ。

検査システムの全数検査や肌診断機の研究・開発で、長い業歴と厚い信用を培う業界第一人者。市販品では得られない特色と特性を有するオリジナル製品や技術を多数所有しており、その独壇場たる領域での実績は卓抜だ。また常に新しいセンシングデバイスと技術とを駆使し、満足の製品を開発・設計・製造している。